

ちよつと ひびく

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

情報推進課

電話 085 6586
FAX 085 1108
Eメール: pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町 6-11

体が不自由でも、議会の傍聴ができました

先日、3月の市議会定例会を初めて傍聴させていただきました。

不自由な身ですので、人の手を借りなければ階段のある傍聴席に入ることができないと思い、一度行ってみたいと思いつつ、あきらめておりましたが、勇気の一步も大切なことだと感じ出掛けました。

役所の方々の親切と力をお借りして、またひとつ、道が開けたような気がします。

手を貸していただいた方々に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(若山町・女性)

気軽に申し出てください

市役所庁舎には、歩行が不自由な方が利用しやすいよう、平成10年にエレベーターを設置しました。

議場傍聴席に入る階段についても、車椅子用のスロープの設置などを検討しましたが、建物の構造上設けることは困難な状況です。

議会は市民のみなさんに開かれたものでなくてはなりません。歩行が

不自由な方の傍聴の際には、職員が入場のお手伝いをいたしますので、お気軽にお申し出ください。

(議会事務局)

「登別クリーン作戦」に参加して感じることに

「登別クリーン作戦」に参加するたびに感じることは、子どもや若い方の姿があまり見られないことです。これからの時代を担う若い方には、環境問題に対する意識をしっかりと持っていてほしいと思いますし、親子でこみを拾うことは、子どもの環境教育にも良いと思います。ぜひ、みんなで参加して、登別をきれいなまちにしましょう。

(主婦)

花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



前年の秋から土作りを始めています

くにきだひで
国枝秀雄さん
新生町3丁目11-6

洋菓子の製造販売を営む国枝さんは「お客や店の前を通る人に楽しんでほしくて」と花壇や手作りのフラワーポットを使い、毎年お店の前をたくさんの花で飾ります。あまりの見事さに、花屋さんに間違えられるほどです。

「花づくりは土作りから」と考える国枝さんは「秋に、土に石灰や骨粉を混ぜ合わせ、さらに雪の降る前に鶏ふんや牛ふんを加えます。花を植える直前に強い肥料をやるのはよくないですからね」。

春、夏、秋と季節ごとに花を植え替える国枝さんは、今年は手作りのラティス(園芸用の仕切り)にたくさんのフラワーポットを飾ろうと張り切っています。

春本番の5月。暖かな陽気に誘われて約200株のパンジーが元気に咲いています。

『わたしのガーデニング』は、今月で終了します。



あすなろ

たけだけんいちろう
武田健一郎さん(25歳)

北海道コンクリート工業(株)登別工場
経験を積んで、技術を高めたいです

「パイル(建物などの基礎杭)を型枠から外す瞬間が一番緊張します」と話す武田さんは、入社して7年目。ビルなどを建設するときの基礎杭を製造する工場で、主に、型枠にコンクリートを流し込む仕事を担当しています。

「コンクリート練りは、強度不足にならないように、ちょうど良い硬さと、練りあがり温度が均一になるように仕上げるのがコツ。製品がうまくでき上がったときはホッとしますね」。

基礎杭は、建造物を支える重要な部分。「自分たちが造ったパイルの上に立派な建物が建っているのを見ると、仕事のやりがいを感じます。これからも、経験を積んで、技術を高めたいです」と抱負を聞かせてくれました。

